

Fly to the world

経営学部のススメ 2015

SCHOOL OF
BUSINESS ADMINISTRATION



MEIJI
UNIVERSITY

地球市場時代のフロンティアを創造する

経営学部は現在、「グローバル経営人材」の育成に力を注いでいます。日本企業のグローバル化と多様化の進む社会において、コミュニケーション能力、プロジェクトを立ち上げ導く企画力やリーダーシップ力などが求められています。これらを磨くために、経営学部では様々なサポートプログラムを用意しています。



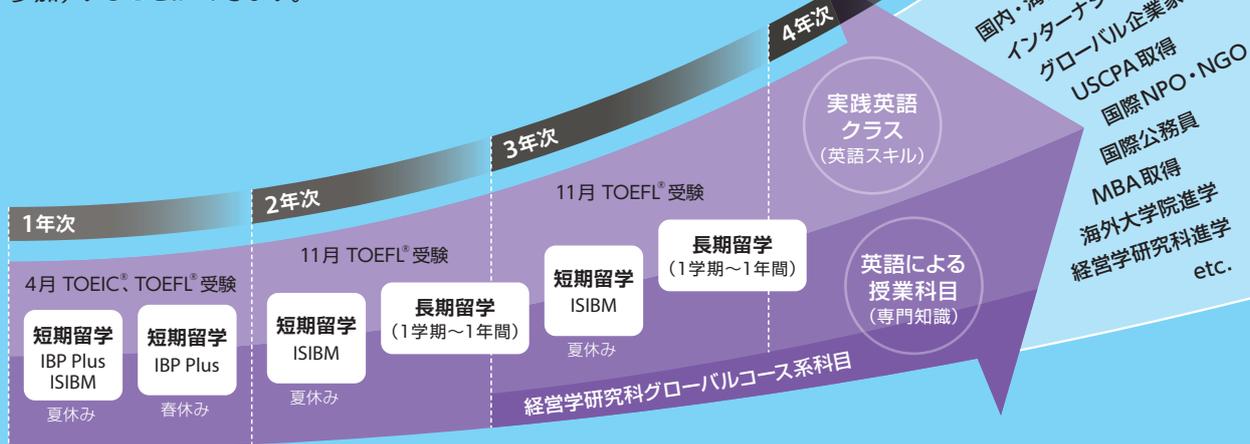
グローバル社会への扉を開こう

GREAT (Global Resources English Applied Track)

英語スキルと専門知識の融合

GREATは、将来、海外留学や国際ビジネス分野での活躍をめざす学生のための4年間のカリキュラムです。特別編成の少人数クラスで実践的な英語スキルを身につけながら、英語による授業科目で教養と専門知識を学びます。経営学部独自の海外短期留学プログラム「IBP Plus」や学部間協定校の短期ビジネスプログラム「ISIBM」、長期留学と組み合わせ、グローバル社会への第一歩を踏み出しましょう。3年次からは経営学研究科のグローバルコース系科目を履修して、さらに専門的な内容を英語で学ぶこともできます。トラック修了者にはTOEFL試験の達成度や留学経験の有無等に応じて修了証書が授与されます。

入学時に実施されるTOEICスコア上位60名が対象となりますが、1年次春学期でGREATの対象にならなかった学生でも、所定の要件を満たせば1年次秋学期、2年次春学期からGREATにOpt in (任意参加) することができます。



実践英語クラス (英語スキル)

「Study Skills」や「English for Business Studies」において4年間のGREATおよび正規留学に必要な英語スキルの基礎を学びます

英語による授業科目 (専門知識)

「Global Issues」などのクラスにおいて英語による国際教養を学びます

「Strategic Communication」や「Advanced Academic Writing」「Advanced Presentation」においてより高度な英語スキルを身につけます

「Introduction to Management」「Basic Accounting」などのクラスにおいて英語による専門知識の基盤作りを行います

1・2年次で学んだ英語スキルと専門知識の融合をさらに発展させ、「ビジネス英語」「ビジネスプレゼンテーション」においてビジネス分野に必要な英語スキルを学びます

より専門的なビジネス専門科目を含む幅広い英語による授業科目を履修します

グローバルコース系科目 (経営学研究科)
※要件を満たせば履修可能

IBP Plus (International Business Program Plus)

世界への初めの一步IBP! 世界への視野を広げるきっかけに!

IBP Plusは、経営学部独自の海外短期留学を行う実習科目で、2002年度から課外の海外語学研修としてスタートし、これまでに600名以上の経営学部生が参加しています。実習先では、英語研修、現地企業訪問、ホームステイなどを通じ異文化や社会を体験します。英語の学習だけでなく、相手国の生活や文化、習慣を身近に体験することで国際理解を深めるねらいがあります。

正規の科目として、単位付与(3単位)しています。生の英語に触れる機会として、また半年や1年といった海外留学を希望する方にはその足がかりとして積極的に参加することを期待しています。

2015年度

実習先 ▶ **Portland State University**
(アメリカ オレゴン州・ポートランド)

San Jose State University
(アメリカ カリフォルニア州・サンノゼ)

日程 ▶ ① **IBP Plus A (夏期)**

ポートランド州立大学 8月19日(水)~9月14日(月)
サンノゼ州立大学 8月11日(火)~9月10日(木)

② **IBP Plus B (春期)** 2・3月(30日前後)

ISIBM (International Summer Institute for Business Management)

カナダで学ぶビジネスマネジメントプログラム

経営学部の協定校ヴィクトリア大学ビジネス学部(カナダ・ヴィクトリア)にて行われる3週間のビジネスマネジメントプログラムです。経験豊かな教授陣による授業やゲストスピーカーによる講義、企業訪問、パーティー、アクティビティなどが組み込まれています。プログラム修了後、卒業要件単位として認定されます。参加者の中から条件を満たした学生には補助金が支給されます。(応募者多数の場合は選考)



2015年度

実習先 ▶ **University of Victoria** (カナダ ブリティッシュコロンビア州・ヴィクトリア)

日程 ▶ 8月1日(土)~8月19日(水) 19日間

学部間協定留学

海外の大学で修得した単位の一部認定も!

明治大学経営学部と交換留学の協定を締結している下記の協定校に、経営学部生が交換留学生として留学するプログラムです(学位取得を目的とした留学ではありません)。半期または通年留学をしても、諸条件を満たせば4年で卒業することも可能です。学費は本学へ納入する必要がありますが、留学先の授業料は免除されます。

2015年度

- ① 7月選考試験: **ソウル国立大学のみ**
(翌年の3月から留学開始)
- ② 12月選考試験: **ソウル国立大学以外の9大学10学部**
(翌年度の8月または9月から留学開始)



ヴィクトリア大学
【ビジネス学部】
(カナダ・ヴィクトリア)



ソウル国立大学
【経営学部】
(韓国・ソウル)



フランスビジネススクール
(フランス・トゥール/ボワティエ)
IPAG ビジネススクール
(フランス・パリ/ニース)



中山大學【国際商学院】
(中国・珠海)



香港城市大学
【商学院】
(中国・香港特別行政区)



シーナカリンウィロート大学
【経済公共政策学部】
【サステイナビリティ研究国際学部】
(タイ・バンコク)



オスナブリュック応用科学大学
【経営管理・社会科学部】
(ドイツ・オスナブリュック)



IE University
(スペイン・セゴビア/マドリッド)

グローバル・サービスラーニング

海外で社会貢献活動を体験しよう！ ボランティア体験から生きた知識を学ぶ

Global Service Learning (GSL) とは、2015年度より経営学部の実習関連科目として新規設置された経営学部独自の海外サービスラーニング科目です。サービスラーニングとは米国の大学で広く取り入れられた実践的教育活動で、単なるボランティア実習ではなく、「社会奉仕」(サービス)活動を通じて課題解決のための知識を習得することを目的としています。日本と異なる経済状況、文化・生活習慣の中でボランティアを経験し、教員や専門家の指導の下、現地の具体的な社会課題について考え、解決する為の社会貢献活動を行います。本科目を履修し修了すると2単位が付与され、卒業に必要な単位数に算入されます。

2015年度

GSL A 実習先 ▶ ネパール連邦民主共和国・カトマンズ
日 程 ▶ 8月25日(火)～9月7日(月) 14日間

GSL B 実習先 ▶ フィリピン・セブ島
日 程 ▶ 2月・3月



i-meeting (アイ・ミーティング)

キャンパス内から異文化交流！ 留学生の友達を増やそう！

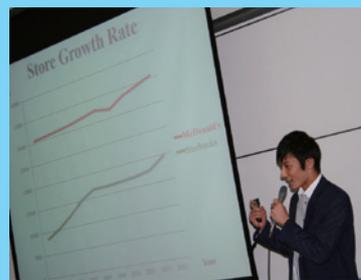
i-meetingとは、経営学部が行っている独自の国際交流イベントです。留学生(交換留学生を含む)、一般学生、及び教職員が参加し、異文化に関するプレゼンテーションやゲーム、各国料理を楽しみながら、国際理解を深め、異文化コミュニケーションのスキルを高めています。2014年度は、和泉キャンパスで2回、駿河台キャンパスで5回実施しました。

英語プレゼンテーション大会

読み書きだけでは味わえない！ 英語で“伝える”達成感！

英語によるプレゼンテーション能力を向上させるためのプログラムです。個人、グループを問わず、これまで研究してきた成果を英語で披露し、優秀なプレゼンターには表彰並びに賞金を授与します。

2014年度は一次審査を通過した10組の学生が発表しました。



Be Active!! ～海外留学単位認定制度～

学生の皆さんに海外留学を強く勧めています。2015年度から海外大学で正規単位を修得した場合、留学先での勉強内容および修得した単位数を積極的に認定する海外留学単位認定制度を開始します。留学をした学生は帰国後、以下の2つの方法により申請します。

- ①「海外留学認定科目」として認定：教養科目、外国語専門科目、各学科基礎専門科目、各学科専門科目のいずれかの科目区分に振り分ける認定方法(*学部・学科必修科目及び外国語必修科目を除く)
- ②既存の科目への読み替えによる認定：例) Marketing management ⇒ マーケティング経営論A / B

外国語検定

TOEIC® 試験 年1回・1年次は年2回(全額補助)

2015年度試験日 11月頃

TOEIC®は、就職時など様々な場面で英語力を測る基準として用いられています。経営学部では1・2年次の英語クラスはこのTOEIC®スコアをもとに習熟度別に編成しており、定期的な英語力チェックを行うことでスコアアップに繋がることができます。TOEIC®IP検定料を年1回(1年次は年2回)全額補助します。

TOEFL® 試験 iBT: 年1回、ITP: 年2回(全額補助)

2015年度試験日 iBT: 6月/ITP: 6月・10月

TOEFL®は、英語を母国語としない人々の英語力を測る、世界各国で実施されている試験です。TOEFL®のスコアを留学の出願条件としている英語圏の大学は多く、留学を希望する人は、留学希望先の大学が要求するスコアを満たしておく必要があります。経営学部では、定員はありますがTOEFL® iBT(公開テスト)は年1回、TOEFL® ITP(団体試験)は最多で年2回の検定料を全額補助します。

各種語学検定試験 年1回(全額補助)

2015年度検定試験日 6月頃・11月頃

下記外国語検定について、春季または秋季のいずれかから年1回、検定料を全額補助しています。初習外国語を中心に日頃勉強している外国語がどれだけ身についているかを測ることができます。



ドイツ語
(ゲーテ・ドイツ語検定)



フランス語
(実用フランス語技能検定)



中国語
(中国語検定)



ロシア語
(ロシア語能力検定)



韓国語
(ハングル能力検定)



社会人基礎力を身に付けよう

経営総合講義 A (産学協同就業力養成講座) [1年次開講科目]

答えのない問題に挑む

経営総合講義Aは、次の3点を目的として協力企業と経営学部教員によって行われるグループワークを基本とした授業科目です。

- ① 主体性を身につける
- ② 社会に興味を持つ
- ③ 社会で求められる力を理解する

授業で扱うテーマは、協力企業の現場で取り組まれている実際の課題です。企業でのリアルな事例に対する挑戦を通して、社会で求められている能力と、自分の現在の力とのギャップを理解します。

大学や企業において、さまざまな課題に取り組む基本的なスタイルであるグループワークを通して、コミュニケーション能力を培っていきます。

履修人数は約30名で、グループを編成して進行します。

- 協力企業(予定): 京王電鉄株式会社 / 株式会社ホテルグランドパレス

キャリア形成入門 [1・2年次開講科目]

事前準備が何より大事 自分なりのキャリアビジョンを描こう

大学時代は、学問的・専門的な知識を獲得することとともに、社会人・職業人として、自らのキャリアを主体的に形成する準備をしていくことが求められます。本講義では、仕事とは何か、キャリアとは何かを考えていくとともに、社会人として必要な、いわゆる「社会人基礎力」を醸成していくことを目的としています。また、経営学部としての特徴を活かし、将来のキャリア形成の場となる企業や非営利組織についての理解を深めるための分析視点の提供も行います。そのため、それぞれの分野での経験豊かな講師陣によるオムニバス形式での授業とするとともに、ビジネスマナーなど一部実習形式を含む授業となっています。

インターンシップ実習 [2・3年次開講科目]

キャンパスの外へ飛び出せば、その経験が力になる

社会人・職業人への準備段階として、また、経営学部で学んだ知識を実践する場として、企業・行政・NPO等の現場での就業体験を行う実習科目です。実習(派遣)時期は夏季休暇中を利用して実施しますが、派遣先での実習がより有意義なものとなるよう、事前学習から事後報告までを一貫して行うことが経営学部のインターンシップ実習の特長です。

インターンシップ実習を通して、将来について考えるきっかけを作り、そこで得たことを今後の学生生活に生かしていくことを期待しています。本科目を履修し修了すると3単位が付与され、卒業に必要な単位数に算入されます。

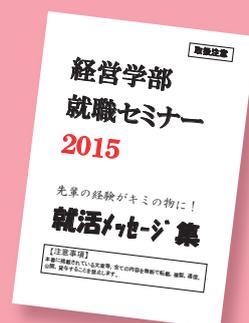


就職セミナー

就職活動を乗り越えた先輩にFace to Faceのアドバイスをもらおう!

経営学部では、1~3年生を対象に経営学部独自の就職セミナーを開催し、きめ細かい就職支援を行っています。大きな特色として、経営学部には【ジュニア・キャリア・アドバイザー(JCA)制度】があり、厳しい就職活動戦線を経験した経営学部4年生が、JCAとして経営学部の後輩の為に就職セミナーを中心に、直接就職活動支援を行っています。

就職活動を終えたばかりの同じ経営学部の先輩から近い距離でリアルな話を聞くことができるのが最大の魅力です。



グローバル社会に通用するチカラを身に付けよう

フィールドスタディ

講義だけじゃない! 「現場を体感」し、「現場で学ぶ」教室外学習

グローバル経営人材育成の一環として、「自分で道理を考え、自分で適切に行動する能力」を創造することを目的に、調査・実習に力点を置いた授業を展開しています。「フィールドスタディ」は、フィールドワークを通じた資料の収集と、それに基づくレポートの作成やプレゼンテーションの実施を核とする実習科目です。1次ステップとして調査対象を観察し、新たな知見を得て自ら行動する能力に加え、調査対象(企業、自治体、NPO法人、特定地域の住民など)への提言を含んだレポート作成やプレゼンテーションを実施できるコンサルテーション能力の向上を目指しています。

調査、資料収集、調査対象への提言とフィードバック、一連の作業を学生が主体的に実施していく体験型プログラムになっています。

[到達目標]

- 1 調査対象に即した課題設定ができるようになること
- 2 その課題に対する問題意識を深めるために文献等を検索して読むこと
- 3 統計などの二次資料を分析する技術を身につけること
- 4 フィールドワークを通じて一次資料を収集し、それを分析する手法を学ぶこと
- 5 独自の考察を加えたレポート・プレゼンテーションを作成すること

2015年度 フィールドスタディ科目一覧(予定)

テーマ	実習先(予定)	教員
日系企業の海外進出	ベトナム(ハノイ)	安部 悦生
東南アジアの国々: インドネシアとシンガポール	シンガポール/インドネシア	阿部 卓
上座部仏教の世界を訪ねて: タイとスリランカ	タイ/スリランカ	阿部 卓
宮古島の社会と文化	沖縄県(宮古島市)	居駒 永幸
CSR活動の実情調査	九州	石津 寿恵
アメリカにおけるグローバル・マーケティング実態	アメリカ(シアトル)	大石 芳裕
日中企業の人材マネジメントの比較	京都府/大阪府	郝 燕書
日中企業の人材マネジメントの比較	中国(上海、広州)	郝 燕書
日口のビジネスと社会の比較	ロシア(モスクワ/サンクト・ペテルブルク)	加藤 志津子
京都企業の歴史と現在	京都府(京都市)	佐々木 聡
日本とEU(ドイツ)における「コーポレート・ガバナンス」に関する比較研究	日本国内	清水 一之
日本とEU(ドイツ)における「コーポレート・ガバナンス」に関する比較研究	欧州各国(ドイツ/オランダ/アイルランド等)	清水 一之
ホテル産業と国際経営	京都府/大阪府	鷺見 淳
ものづくり地域中核企業の経営戦略	新潟県(三条市/新潟市)	藤江 昌嗣
ものづくり地域中核企業の経営戦略	滋賀県/京都府	藤江 昌嗣
An introduction to qualitative field research America in Japan	東京都 神奈川県(横須賀市)	BRADFORD Annette BRADFORD Annette

フィールドスタディ(2014年度実績)



「宮古島の社会と文化」

実習先: 沖縄県 宮古島



「米国シリコンバレーのイノベーションを学ぶ」

実習先: 米国 サンノゼ/シリコンバレー

資格取得

日商簿記検定試験 年2回(全額補助)

簿記の知識は、経理事務や、財務会計部門に限らず、経営管理・経営分析を行うための基礎技能として必要とされています。経営学部では簿記検定の取得を目指しており、最多で年2回の検定料を全額補助します。また経理研究所では、日商簿記検定1~3級合格を目指す簿記講座と、公認会計士試験合格を目指す会計士講座を開講しており、学習に最適な支援サポートを受けることもできます。

2015年度検定試験日 6月14日・11月15日

経営学部で目指す主な資格

公認会計士/USCPA(米国公認会計士)/税理士
/中小企業診断士/社会保険労務士

所定の単位数を修得すれば取得可能な資格

中学校(社会)/高等学校(地理歴史)(公民)(商業)
/学芸員/社会教育主事/司書/司書教諭

『蒼樹』発行

自分の手で論文を書いてみよう!

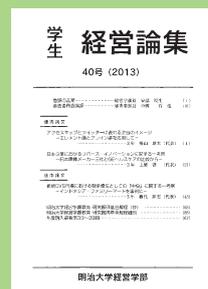
論文やレポートの作成には論理的思考力が必要です。1・2年次に開講している「レポート・論文作成法」は、講義を通して明快な論理によって構成された文章を書くことの訓練ができます。4年次に提出する卒業論文制作への基礎づくりに役立つだけでなく、社会に出てからも応用可能な知の技術となります。履修学生が提出した課題論文の中で特に秀作と認められたものを選び「蒼樹」という論文集が発行されます。「蒼樹」は毎年4月初めに1年生全員に配布し、「レポート・論文作成法」の授業でも参考文献として使用されます。



『学生経営論集』発行

自分の書いた論文が、未来に残る冊子となり、未来の自分の糧となる

奨学制度として懸賞論文制度を設け、学生の教育・研究の振興を図っています。個人論文、共同論文に対し、優秀論文には5万円、佳作論文には3万円が授与されます。毎年多くの学生が、個人単位、ゼミ等のグループ単位で応募し競い合っています。入賞作品は学生経営論集として出版され、高い評価を得ております。



奨学金制度

学部独自の基準による奨学金制度を設け、学業に励む学生を応援しています。(以下一部抜粋)

明治大学学業奨励給費奨学金

在学生の勉強意欲を高め、学業の更なる向上に資することを目的として、学業成績優秀者に対して給付します。

明治大学校友会奨学金

校友会からの寄付金を原資として、GPA等学業成績を総合的に審査し優秀な成績を修めた者に給付します。

学部長奨励賞

優秀な成績を修めた者を対象に表彰並びに副賞を授与します。

グローバル人材育成トラック奨学金

申請要件を満たし、審査にて修了者として認められた者には表彰並びに奨励金を授与します。

大学院授業履修の勧め

3年次以上の学生は、所定の条件を満たしていれば、大学院経営学研究科の科目を10単位を上限として履修することができます。英語の授業も数多く開講し、少人数で深い学習ができるとともに、大学院進学の際には、その単位を修了要件に含めることができます。(経営学部の単位にはなりません)

3年早期卒業制度とあわせることで、学士+修士学位の取得が5年で可能となります。



<http://www.meiji.ac.jp/keiei/>

経営学部事務室

駿河台キャンパス

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1 リバティタワー5階 TEL:03-3296-4194~5

和泉キャンパス

〒168-8555 東京都杉並区永福1-9-1 第一校舎1階 TEL:03-5300-1151~2

